

瞬目の心理学と教育への応用

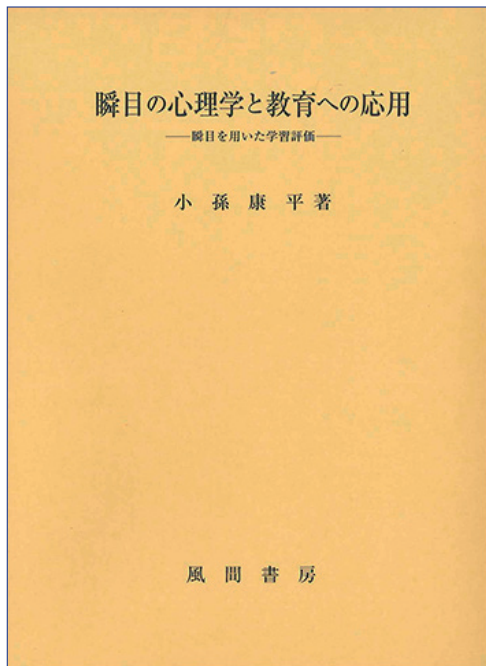
—瞬目を用いた学習評価—

皇學館大学教授
博士（学術）

小孫康平 著

目次概要

瞬目（まばたき）は何のために行っているのか。瞬目と心理学的要因との関連性の解明および瞬目を用いた学習評価の可能性について総合的に論究した本邦初の研究書。



- 第1章 瞬目とは何か
- 第2章 瞬目の測定法
- 第3章 瞬目の年齢差と性差
- 第4章 霊長類の瞬目
- 第5章 瞬目による脳機能の変化
- 第6章 非言語コミュニケーションと瞬目
- 第7章 非言語コミュニケーションにおける瞬目の多少と印象形成
- 第8章 非言語コミュニケーションにおける瞬目頻度と職業別人物の印象形成
- 第9章 対人場面におけるコミュニケーションと瞬目
- 第10章 注意の方向性と瞬目
- 第11章 生体情報を用いた学習評価
- 第12章 コンピュータディスプレイ上の文字の読みやすさと瞬目
- 第13章 連立方程式と瞬目
- 第14章 「ハノイの塔」と瞬目
- 第15章 ワーキングメモリと瞬目
- 第16章 二重課題における注意資源配分と瞬目
- 第17章 興味と瞬目
- 第18章 障害児・者における瞬目の利用
- 第19章 スポーツにおける瞬目
- 第20章 居眠りと瞬目

【著者紹介】

小孫 康平（こまご やすひら）
皇學館大学教授

1952年 大阪府生まれ
筑波大学大学院教育研究科修士課程修了（教育学修士）
東北学院大学大学院人間情報学研究科人間情報学専攻
博士後期課程修了 博士（学術）
立命館大学大学院先端総合学術研究科先端総合学術専攻
博士課程修了 博士（学術）

A5判・166頁

定価：本体 6,500円＋税

ISBN 978-4-7599-2048-2

2014年9月刊・好評発売中